

## 平成24年12月 第4回 市議会定例会



出荷が進むガーベラ(西真土)

# 市税条例の改正を可決

## 個人市民税を増税し、防災施策を充実

平塚市議会は、平成24年11月28日から12月21日まで、24日間の会期で12月定例会を開催しました。

今定例会では、市長から一般会計補正予算や、市税条例の改正案など31議案が提案されました。また、議員からは「平塚市議会政務調査費の交付に関する条例」の改正案など2議案が提出され、これらを慎重に審議した結果、すべて原案どおり可決しました。

また、10月に開催した決算特別委員会の審査結果を受けて、一般会計をはじめとする平成23年度の各決算を認定しました。  
※議案と審議結果は8面に、決算特別委員会の審査内容は5面に掲載しています。

### 増税の是非を問う

今定例会では、「市税条例の一部を改正する条例」を賛成多数で可決しました。この改正は、東日本大震災の発生を受け、地方公共団体が行う防災・減災対策の財源とすることを目的として個人市民税の増税を認める法律が制定されたことに基づくもので、個人市民税に、平成26年から10年間にわたって一律に500円が加算されます。これにより、市の歳入は年間約6000万円、10年間で約6億円の増収となります。

### 「予算総額は減少」 一般会計補正予算

一般会計の補正予算では、新庁舎建設事業の工期が平成28年度まで延長されたことから、執行予定だった予算の一部が平成25年度以降に持ち越されたことにより、今年度の予算が約53億9733万円の減額となり

億7000万円が計上されたほか、日本脳炎、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌の各ワクチンの予防接種にかかる経費として約2億7000万円が計上されました。

そのほかの補正も含め、一般会計全体では41億8514万2000円の減額補正となり、平成24年度の一般会計予算の総額は846億9088万8000円となりました。

### 平塚市と伊豆市 友好都市提携へ

平塚市の市制施行80周年を記念して、「市民休養の郷」である静岡県伊豆市と「友好都市」の盟約を結ぶため、議会の同意が求められました。伊豆市は、岐阜県高山市、岩手県花巻市に続く友好都市となります。

### 質問に「一問一答方式」

#### わかりやすい議会運営が一歩前進

平塚市議会では、議会の活性化に向けた新たな取り組みとして、今定例会から議員が「一問一答方式」による質問方法を選択できるようになりました。

これまでの本会議の総括質問では、すべての質問を一括して行う「一括質問一括答弁」で行ってききましたが、今回導入した一問一答方式では、議員が複数の質問の中から一点ずつ質問を行い、それに対する理事者の